

総合工学委員会 原子力安全に関する分科会（第25期・第6回） 議事要旨

1. 日時：令和5年1月26日（木）12:00～12:45
2. 場所：日本学術会議5階会議室5-A(1)・遠隔会議（ハイブリッド開催）
3. 出席者（敬称略）：
 関村委員（委員長）、大倉委員、越塚委員、竹田委員、野口委員、森口委員、
 松岡委員、中島小委員会委員長、（遠隔 矢川委員）
 欠席委員：柴田委員、山地委員
4. 議事：
 - (1) 前回議事録の確認
 - ・関村委員長より、資料1に基づき説明された。
 - (2) 各小委員会の活動報告及び提言・報告等について
 - 1) 原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会
 - ・森口小委員会委員長より資料2-1-1, 2-1-2, 2-1-3を使って説明があった。
 - ・データアーカイブのアンケートの実施に着手し、現在までに500件余り回答があった。
 - ・資料2-1-3の英文版報告書は本年1月6日に学術会議HPから公表済みである。広く知ってもらうため、国際学術誌への寄稿、学会関係者への周知などの手段も考えられる。
 - ・「学術の動向」に記事を出すことも考えられるが、季刊になったことで出しにくくなった感もある。
 - 2) 社会のための継続的イノベーション検討小委員会
 - ・松岡小委員会委員長より資料2-2-1, 2-2-2, 2-2-3を使って説明があった。
 - ・今期中に報告をまとめたい。申出書を既に提出した。
 - ・資料2-2-2の報告（案）について、コメントがあれば今週中に委員長に送ることで、承認された。詳細に関する修正は委員長に一任することになった。
 - 3) 研究用原子炉の在り方検討小委員会
 - ・中島小委員会委員長より資料2-3を使って報告があった。
 - ・見解としてまとめつつあるが、検討がさらに必要であり、今期中にまとめることは難しそうである。
 - ・研究炉の廃棄物は国が引き取るべきである、という主張だけでは進まない、という意見があった。

- ・今期中に骨子を作ることはどうか、との意見があった。

(3) 原子力総合シンポジウムの開催状況について

- ・資料3-1, 3-2により、本日開催中の原子力総合シンポジウムに関して説明があった。

(4) その他

- ・学術会議の改革の動向、来期に向けての任期の不確実性などについて情報交換がなされた。

5. 配布資料：

資料0 【議事次第】原子力安全に関する分科会(第25期・第6回)

資料1 総合工学委員会 原子力安全に関する分科会第25期第5回議事録確定版

資料2-1-1 環境汚染調査小委員会から第6回原子力安全に関する分科会への報告

資料2-1-2 環境汚染調査小委員会(第25期・第6回)議事要旨提出版

資料2-1-3 環境汚染調査小委員会英文版報告書

資料2-2-1 継続的イノベーション検討小委員会活動報告

資料2-2-2 継続的イノベーション検討小委員会報告案

資料2-2-3 継続的イノベーション検討小委員会申出書(別紙様式1)

資料2-3 研究用原子炉の在り方検討小委員会報告

資料3-1 原子力総合シンポジウムプログラム(共催学会名入り)

資料3-2 原子力総合シンポジウムポスター